

災害復旧費等に

一般会計予算

約15億円の追加補正

ひめかゆ温泉復旧工事費に3260万円

第3回臨時会のあらし

平成20年第3回臨時会が、7月29日に開催されました。
岩手・宮城内陸地震被害調査特別委員会の名称変更についての議題、地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定、建物収去土地明渡し等請求事件に係る訴えの提起に関し議決を求めること、平成20年度一般会計及び各特別会計の補正予算等議案9件、(株)ひめかゆの経営状況報告1件が上程され、原案のとおり可決、認定されました。

平成20年度
補正予算審議

質問 義援金の使途については、いろんなメニューで対応しようという話も聞かれますが、基本的にはすべて、被災者に行くようにすべきと考えますが、その考えを伺います。

答弁 義援金の使途については、岩手県の方にもあるので、県でもどのような形で使うべきか検討していると聞いています。奥州市としても、県との調整をし、どのような方がいいのか検討させていただきたいと思っていますので、現時点で明確に何の事業に使うと

いうことは、お答えできないという事です。

質問 農地農業用施設復旧の対応について伺います。

答弁 補助対象外の小災害については、対象は集団及び団体で申請され、集落に対して予算の範囲以内で、補助金を交付する事であり、事業費は、1ヶ所13万円未満を限度とし、補助率は、事業費の3分の2であり、奥州市単独の事業でもあることから、予算は1665万円、250ヶ所程度を見込んでおります。

質問 ひめかゆ温泉の修繕と連携して、スキー場が今年オープンできるのか、また従業員の雇用の見

通しを伺います。

答弁 温泉の浄化槽が大きく痛んでおり、約2500万円の予算で浄化槽本体と、周りの土砂の埋め戻し工事を進めて、早く暫定供用できるような形を取って開業したいと思っています状況です。スキー場の見通しについては、調査をもとにその後判断する事になっております。



経営再会されたひめかゆ温泉

「岩手・宮城内陸地震等被害調査特別委員会」に名称変更

7月24日未明に発生した、岩手県沿岸北部を震源とする地震発生により、再び大きな被害が生じた事により、奥州市議会として、同じように被害状況を調査する必要があることから、特別委員会の名称を「等」を加えて「岩手・宮城内陸地震等被害調査特別委員会」に変更しました。

「議会基本条例」
制定に向けて

議会基本条例は、議会運営の最高規範として議会の役割や議会と市民との関係、議会と首長との関係などを明示し、議会のあるべき姿、進むべき方向、議会と議員の責務を定め、市長と対等の責任を担って市民に信頼され存在感、活動力、創造力豊かな議会運営を目指すことを条例に明文化したものです。

昨年8月、議員全員で構成する市政調査会に議会基本条例検討部会(10名)を設置し、これまで21回の検討部会を開催し、条例に盛り込む内容等について検討しています。



部会長 佐藤 絢哉
副部会長 阿部加代子
部員 関 笙子、菅原 明、及川 俊行、千葉 悟郎、今野 裕文、佐藤 邦夫、内田 和良、廣野 雅昭